

トヨタ自動車株式会社 開発品種

省管理型コウライシバ

TM9

ティー エム ナイン

芝刈りの回数を減らすために開発されたプレミアムコウライシバです。より少ない労力で美しく芝を保つことができます。

芝刈りの回数を減らせます！

特徴
1

草丈が在来品種の 半分以上

芝刈り回数の大幅な低減が可能
(在来品種:3~5回/年、TM9:1~2回/年)

特徴
2

施肥量の低減

芝刈りで失われる肥料分が少ないため、施肥量を半分以上に低減可能

特徴
3

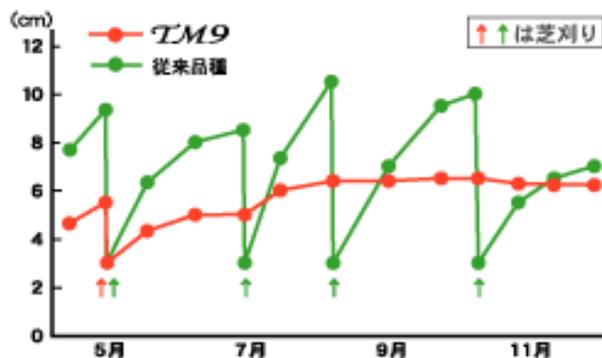
美しいターフ

- ・節間が短いため、緻密なターフを形成
- ・緑色が濃いため、美観が維持しやすい



TM9 在来品種

10月の状態(年間窒素施肥量7g/m²)



草丈の推移(社内試験例、年間窒素施肥量7g/

- ・活着後と出穂後の芝刈りにより、美しい状態が維持できます。
- ・施肥量を低減することにより、葉色を維持しながら草丈を短く管理できます。
- ・日照不足の場合、従来品種と同様に草丈が伸びることがあります。
- ・種苗法による登録品種です。無断増殖・販売はできません。

TM9栽培ガイド ～芝張りについて～



TM9

一般のコウライシバ

OTM9の特徴

- 1.草丈が一般コウライシバの半分以下なので、草刈り回数的大幅な低減ができます。
- 2.草刈り回数が少ないため、施肥量を低減できます。
- 3.節間が短いため、緻密なターフを形成します。

■芝張りに適した時期(3月～5月)に、下記の要領で芝張りを行います。

1.整地前の除草

芝を張る予定の場所に雑草がある場合には、雑草を取り除きます。雑草の根が残っている場合、芝張り後の除草は困難になりますので、整地前に完全に除去します。

2.整地

苗を地面に置く前に、トンボやレーキなどで平らにします。排水桝に向かって地面を低くするように勾配をつけるなど、水溜りが出来ないように工夫します。地面が粘土質で固い場合は、土を耕して堆肥などを混入します。土の中に石が多い場合も、耕しながら石を取り除きます。凹凸が出来ることが多いので、耕した後に土を踏みしめながらレーキなどで平らにします。

3.芝張り



芝の苗を平らな地面に置きます

芝の張り方には、全面張り、目地張り、市松張りなどがあります。家庭園芸では、雑草が出にくい全面張り(写真)をお勧めします。全面張りの場合でも、継ぎ目がレンガ模様になるように芝を並べます。苗と苗の間は、1cm程度の隙間を空けて、目土が入るようにします。

4.目土



目土をかけて、すり込みます

苗の乾燥防止と根の発達を促進させるために、必ず目土をかけます。量は1㎡当たり5リットルが目安です。バケツなどで量を測りながら、均一に撒きます。目土には排水性を考慮して、芝専用の砂か土を使用し、トンボやホーキなどで均一に伸ばします。砂が乾いたときに作業をすると簡単に砂が入り込みます。

5.水遣り

目土が移動しない程度の水量で、たっぷりと水を与えます。

6.養生



水を与えて養生します

約2ヶ月間は養生期間となります。根が張るまでは乾燥に注意し、十分に水を与えます。また、苗が移動しないように静かに歩くようにします。

TM9栽培ガイド ～日常管理～

■下記の要領で日常管理を行なうことにより、TM9の特徴が生かされます。

1.芝刈り



穂が出揃って、この状態になったら芝刈り時期



穂がこの状態で芝刈りするとこぼれ種が発生する恐れがあります。

TM9は芝刈りの回数を減らす目的で開発されていますが、4～6月の穂が出揃った後には必ず芝刈りを行います。(種が実って、こぼれ種が発芽した場合には、まれに草丈の高い固体が生じる場合があります。)

芝刈り時期の目安(穂の状態)は、左の写真を参照してください。刈り高の目安は現状の草丈の1/3程度を目安に調整します。それより低刈りを行うと軸刈りとなり芝にダメージを与えますので、ご注意ください。

養生直後に、草丈が伸びたり、草丈を短くしたい場合には、季節に関わらず芝刈りを行います。刈りカスは回収して、芝生の上に残さないようにします。

2.施肥



肥料は均一に散布します

1～2ヶ月に1回を目安に肥料を散布します。(4月～10月)。1回の施肥量は、20g/m²(芝生用肥料、10:10:10)を基本とします。撒き方にムラがあると、芝の色もムラになりますので、均一に撒くように注意します。少量ずつ数回に分けて散布すると撒きムラが少なくなります。施肥の回数や量は土壌の状態によって異なりますが、標準的には年間60g～80g/m²(芝生用肥料)が必要となります。緑色が維持できる程度に最小限の肥料を与えることにより、刈込み回数を減らすことができます(出穂後の刈込みだけで、草丈を4～6cmに維持することが可能です)。

3.水遣り

晴天が続いた場合は、週に1回を目安にたっぷりと与えます(4月～10月)。水不足になると、葉が針のように巻いて全体が黒ずんで見えます。早急に水遣りを行ないませんが、少量の水を長時間にわたって与えたほうが、水が地中深くまで浸透するため効率的です。

4.目土入れ

目土は地面の凹凸を均す目的以外に、芝生の根の発達を促進する目的がありますので、1年に1回(4月～5月)を目安に実施することをお勧めします。量は2リットル/m²が目安です。

5.除草



出来るだけ早く除草します

雑草に覆われると芝が傷むので、雑草が大きくなる前に根から抜き取ります。大型のピンセットや草取り器具を利用すると便利です。除草剤を使う場合は、必ずコウライシバに適合した除草剤を除草剤の取り扱い説明書に従って使用します。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
芝刈					(出穂後)	-----	-----	-----	-----	-----		
目土				-----	-----	-----	-----	-----	-----			
施肥				-----	-----	-----	-----	-----	-----			
水遣り				-----	-----	-----	-----	-----	-----			
除草	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

注1:関東以西を標準とした管理スケジュールです。

注2:日当たりが悪い場所で栽培すると草丈が伸びることがあります。

注3:農林水産省の登録品種です。(品種登録名称:ティーエムナイン)

----- 適期
----- 必要に応じて実施

注1:関東以南を標準とした管理スケジュールです。

注2:日当たりが悪い場所で栽培すると草丈が伸びることがあります。